

被害防除計画書

転用事業者 ○田 一男

- 該当事項に○印及び必要事項を記載のうえ、土地利用計画図面や断面図等で場所を記入してください。
- また下の空欄には具体的な被害防除措置について記入するとともに、被害発生の恐れがない場合は、その理由を記載してください。

1 周辺農地、用排水路への土砂流出、たい積、崩壊等に対する対策、及びガス、粉じん、鉱煙の発生、湧水、汚濁水、捨石等による周辺農地の営農条件に支障を及ぼさないための措置。

(1) 申請地の造成計画の内容

- ア 盛土を行う。(最高 **0.8** m、最低 **0.3** m)
- イ 切土を行う。(最高 m、最低 m)
※盛土または切土を行う場合の法面勾配の程度 (安定勾配約 度その他)
- ウ 現状のまま利用する。

(2) 上記(1)に伴う被害防除措置

- ア 擁壁を設ける。 イ 土羽打ちをする。 ウ 種子散布等により法面保護をする。
- エ 緩衝地を設ける。 オ 防護策を設ける。
- カ その他 ()

(3) 雨水・排水計画

- ① 排水方法
 - ア 溜枳 イ 調整池 ウ 自然流下 エ その他()
- ② 直接放流先
 - ア 河川 イ 道路側溝 (新設 既設) ウ 農業用水路 (排水路 用水路)
 - エ その他 ()

(4) 污水排水計画

- ① 排水方法
 - ア 合併浄化槽 イ 集落排水 ウ 公共下水道 エ くみ取り
 - オ その他 ()
- ② 直接放流先
 - ア 河川 イ 道路側溝 (新設 既設) ウ 農業用水路 (排水路 用水路)
 - エ 集落排水 オ 公共下水道 カ その他 ()

(5) 具体的な被害防除措置の内容及び被害発生の恐れがない理由

集落内に位置し、周辺に農地が存在しないため

2 周辺農地への日照、通風、通作等に支障を及ぼさないための措置

(1) 被害防除措置

- ア 施設等の隣地からの距離 (幅約 **2.0** m ~ **10.0** m)
- イ 施設等の高さ (高さ約 **7.5** m)
- ウ 隣接農地への通路を確保する。(新設 既設)
- エ その他

(2) 具体的な被害防除措置の内容及び被害発生の恐れがない理由

集落内に位置し、周辺に農地が存在しないため

3 その他周辺農地の営農条件に支障を及ぼさないための措置

- 隣接農地に日照通風などの障害とならないか なる **ならない** (該当に○をする)
- 申請地の東側隣接地の地目 (現況) **宅地** 所有者 **○田次郎** に接している
- 〃 西側 〃 **雑種地** 〃 **〃** 〃
- 〃 南側 〃 **公衆用道路** 〃 **国土交通省** 〃
- 〃 北側 〃 **宅地** 〃 **×山太郎** 〃
- 隣接耕作者から転用による被害が無い旨の承諾書 有 **無** (該当に○をする)
- 承諾書がない場合はその理由

隣接農地が存在しないため

- 宅地にすることにより耕作路、灌漑用水路が隣接している場合はどうするか (工場で廃油が流れる恐れがある場合はその処理方法を具体的に記入すること)

- 土地改良事業施行の有無 (用水関係、土地区画整理関係、水抜き、畑地灌漑等改良関係)

有 **無** (改良区のある場合は改良区理事長から転用しても良いことの意見書を添付)

この意見書の交付を申請した日から30日経過しても意見書の交付が受けられない時はその交付を受けられない理由を記入すること)

名称 改良区 改良区 改良区

- 下水 (炊事、風呂、洗濯その他) の処理方法 (添付図面に図示しておくこと)

(該当に○をする)

既設の下水路、排水路に流す

下水路を m新設して既設の下水路排水路に流す

下水溜を作って処理する

- 申請土地に接している道路 (該当に○印を、空欄には数字を記入のこと)

国道 県道 **市道** 部落道 農道 私道

建築基準法による道路使用指定指導済 (申請 年 月 日) 同法の指定未申請

同法の指定許可済 (年 月 日第 号)

- 幅印 **6** mの道路があり、この道路に申請地が **11.5** m幅接続している

★家族構成 (住宅建築の場合)

	氏名	年齢	備考
1	○田 一男	35	
2	〃 花子	31	
3	〃 松子	7	
4	〃 竹子	5	
5	〃 梅之助	2	
6			
7			